

氏名	嵐末 憲子	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	ソーシャルケア・専門職連携・EBPM				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1988年3月熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程 卒業、2000年3月日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科 博士前期課程修了、2022年3月国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了				
経歴	2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手 2003年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師 2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授 2025年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本介護福祉学会(査読委員)、日本保健医療福祉連携教育学会（査読委員）、日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	F-SOAIPで発信する訪問介護の専門性：ホームヘルパー 私たちの仕事をお見せます 其の一	共著	あり	日本ホームヘルパー協会東京支部；P.98		石井幸枝、牧野裕美、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾著	2025年6月
2	F-SOAIPで発信する当事者の声：栃木障がいフォーラム編 復刊 障がい者が経験した「嫌な想い」「障害差別」を考えるための事例集 2013	共著	あり	日本ソーシャルケア研究所；P.98		<u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾編	2026年2月
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	連載第3回 F-SOAIPで好循環と協創を 障がいと共に生きる学生に多面的・効果的な F-SOAIP をユニバーサルデザインに／F-SOAIPによる教育のユニバーサルデザイン化～標準化とプラットフォーム化を展望して～	共著	なし		月刊先端教育2025年5月号、74-76頁	伊藤明代、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.4
2	自治体サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制整備事業にてPDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(6) 地域包括支援センターのモデルとなった保健福祉サービスセンター（茅野市）でのF-SOAIP導入報告～市長・保健福祉サービスセンター長・保健師・社会福祉士から～	共著	なし		自治実務セミナー2025年5月号、26-31頁	<u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾、丸茂優子、長田香織、藤森真依、宮下由希	2025.4
3	保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP（エフソ・アイビー）の理論と実践 第7回 諸課題解決と支援・ケアの質向上に繋がるF-SOAIPの多領域多面的な活用を、監修者コメント F-SOAIPがもたらすIPWの好循環に向けた政策的戦略	共著	なし		Visionと戦略2025年5月号、38-39頁	河野礼子、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.4

4	F-SOAIPによる協創で課題解決を 第5 回、F-SOAIP 最新トピックス 24-27、及び、地域包括支援センターにおけるF-SOAIPの革新的好循環モデルを発信する意義～リーダーの英断とキャリアラダーや定型文開発等の組織的展開	共著	なし		月刊ケアマネジメン ト、36(5)、33-37	竹本聡美・小野克美、古家智文、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.4
5	連載第4回 F-SOAIPで好循環と協創を 先駆的 IPE（多職種連携教育）に取り組む医療福祉系大学の作業療法士養成・実習教育へのF-SOAIP導入／IPE（多職種連携教育・関連職種連携教育）へのF-SOAIPの位置づけと国際発信を／DX・AI時代の将来を見据えた専門職養成教育・多職種連携教育から現任者研修へ～動態的データを可視化するF-SOAIPの横断的・縦断的展開を	共著	なし		月刊先端教育 2025 年6月号、62-64頁	藤本幹、鈴木康裕、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.5
6	保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP（エフソ・アイピー）の理論と実践 第8回 IPW（多職種連携・協働）深化の実、監修者コメント F-SOAIPがもたらすIPWの好循環に向けた政策的戦略	共著	なし		Visionと戦略2025 年6月号、36-37頁	田中真佐恵、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.5
7	F-SOAIPによる協創で課題解決を 第6 回、F-SOAIP 最新トピックス 28、及び、地方自治体関与による F-SOAIPの多様な展開を期待して～直営機関および関係機関への支援や協創	共著	なし		月刊ケアマネジメン ト、36(6)、33-37	山本恵美子・藤本美枝、別府晃則、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.5
8	連載第5回 F-SOAIP で好循環と協創を 学習療法とF-SOAIPの導入施設による成果発信～認知症政策に活用したい「脳の健康教室」／12の認知症施策に医療・福祉・教育・自治体等の協創によるF-SOAIPを期待～学習療法や「脳の健康教室」の先進例（大分県）～	共著	なし		月刊先端教育 2025 年7月号、76-78頁	吹田カズエ、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.6
9	（保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP（エフソ・アイピー）の理論と実践 第9回 記録が支援を変える～兵庫県多可町におけるF-SOAIP導入とDXへの挑戦～／障がい者相談支援記録システムの構築、監修者コメント F-SOAIP の先進自治体モデルによる協創－記録標準化がもたらす好循環の未来	共著	なし		Visionと戦略2025 年7月号、36-37頁	櫻本和久、目取真康裕、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.6
10	F-SOAIPによる協創で課題解決を 第7 回、F-SOAIP×ソーシャルアクション 3～4、及び、F-SOAIP 最新トピックス29	共著	なし		月刊ケアマネジメン ト、36(7)、33-37	清水直美、高木亜希子、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2025.6

11	連載第6回 F-SOAIPで好循環と協創を、社会福祉士養成F-SOAIP演習をボランティアに活用-大学生によるギフトド支援交流のリフレクション／F-SOAIPが支える支援の可視化：学生による実践の好事例／専門職教育におけるF-SOAIP導入の提言 ～学生・現任者による教育・実践での活用に向けて～	共著	なし		月刊先端教育 2025年8月号、74-76頁	嵐末憲子・四野見英、小澤昭彦、小嶋章吾	2025.7
12	F-SOAIPによる協創で課題解決を 第9回、解説 渋谷区における行政・民間協働で推進するF-SOAIPのミクロ・メゾ・マクロの展開期待～モデル性の分析：行政のリーダーシップと多機能を担える人材～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(8)、33-37	杉山由美子、横山裕子、牧野雅美、嵐末憲子・小嶋章吾	2025.7
13	連載第7回 F-SOAIP で好循環と協創を、F-SOAIP リーダー養成研修の概要と受講者の活躍～IPE・IPW（多職種連携教育・実践）推進に向けて～／活用が広がるF-SOAIPのさらなる進展を期待する／多職種の共通理解に資する構造化され柔軟で使いやすいF-SOAIP普及への期待	共著	なし		月刊先端教育 2025年9月号、80-82頁	嵐末憲子・小嶋章吾、田中滋、木内祐二	2025.8
14	F-SOAIPによる協創で課題解決を 第10回、F-SOAIP×ソーシャルアクション 5、及び、F-SOAIP 最新トピックス30	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(9)、33-37	金子貴史、嵐末憲子・小嶋章吾	2025.8
15	歯科衛生士が知っておきたい F-SOAIP	共著	なし		デンタルハイジーン 2025年10月号、1113-1118頁	小嶋章吾・嵐末憲子、波多野朱里	2025.9
16	F-SOAIPによる協創で課題解決を 第10回、F-SOAIP×ソーシャルアクション 6、及び、F-SOAIP 最新トピックス31～33	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(10)、33-37	村尾空見子、徳本玲子・片木永子・佃今日子、堀中裕貴、北川美由紀、嵐末憲子・小嶋章吾	2025.9
17	F-SOAIPによる協創で課題解決を 第11 解説 包括的支援体制・社会保障改革の革新的推進をF-SOAIPで～大東市社会福祉協議会の挑戦を全国の社会福祉協議会でも展開を～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(11)、33-37	村尾空見子、佐々木志奈、堀越星香、藤井美貴、藤田文武、嵐末憲子・小嶋章吾	2025.10
18	解説 F-SOAIPによる経過記録の標準化～自治体DX・AI活用に適した記録と実践	共著	なし		月刊J-LIS2025年12月号、23-28頁	嵐末憲子・小嶋章吾	2025.11
19	F-SOAIPによる協創で課題解決を 第12回 解説 対人支援を総合的に展開する全国最大規模の社福法人と関連法人でのF-SOAIP展開～DXに求められるエコシステム構築～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(12)、38-42	牧野光子、嵐末憲子・小嶋章吾	2025.11

20	実現しよう！ F-SOAIPの社会実装 第1回 地方から国へ届けよう！ F-SOAIPを共生 社会への処方箋に	共著	なし		月刊ケアマネジメント、37(1)、33-37	伊佐治剛、菊岡たづ子、小嶋章 吾、 <u>嵐末憲子</u>	2025.12
21	実現しよう！ F-SOAIPの社会実装 第2回 解説 AIやDXを展望する社会保障改革に資 するF-SOAIPエコシステム構築	共著	なし		月刊ケアマネジメント、37(2)、34-38	小暮慎一、山口真・上田敏文、矢 沢一真・羽田野政治、 <u>嵐末憲子</u> ・ 小嶋章吾	2026.1
22	実現しよう！ F-SOAIPの社会実装 第3回 解説 F-SOAIPのミクロ・メゾ・マクロレ ベルにおける協創を可視化する教材～3 段階の「F-SOAIPワークシート」と「好 循環」モデルへの期待～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、37(3)、33-37	河野礼子、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2026.2
23	実現しよう！ F-SOAIPの社会実装 第4回 解説 F-SOAIP多領域実装におけるミク ロ・メゾ・マクロの好循環モデル構築に 向けて～大規模法人における研修と教材 による実践知の協創プロセス～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、37(4)、33-37	中志野、 <u>嵐末憲子</u> ・小嶋章吾	2026.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	市町村における包括的な支援体制の整備 に資する記録方法の標準化について～地 域包括支援センターが実践すべき水平統 合と垂直統合の観点からF-SOAIPを提案 ～	共同		日本保健医療福祉連携教育 学会第18回学術集会、東京		○中田理恵、 <u>嵐末憲子</u> 、小嶋章吾	2025.10
2	F-SOAIPの実践報告より考案した“協創型 イノベーションリサーチ”～生成AIやD Xを創出するエコシステムの提案～	共同		日本保健医療福祉連携教育 学会第18回学術集会、東京		○ <u>嵐末憲子</u> 、小嶋章吾、藤井江美	2025.10
3	F-SOAIPにより可視化する多職種協働の 経済効果～世田谷区介護事業者経営改善 支援事業におけるケアサービスによる経 営改善～	共同		日本保健医療福祉連携教育 学会第18回学術集会、東京		○河野礼子、小嶋章吾、 <u>嵐末憲子</u>	2025.10
4	F-SOAIP導入で「何」が「どのように」 変わったかーF-SOAIP導入・定着に向け た工夫と導入後の変化ー	共同		日本保健医療福祉連携教育 学会第18回学術集会、東京		○上野真弓、三石佐織、小嶋章吾、 <u>嵐末 憲子</u>	2025.10
5	生活支援記録法（F-SOAIP）を用いた看 護職員教育および活用の評価と課題	共同		日本保健医療福祉連携教育 学会第18回学術集会、東京		○平松智子、下郡美香、小嶋章吾、 <u>嵐末 憲子</u>	2025.10
6	地方議会を通じた議員と行政の協働が重 層的支援体制整備事業へのF-SOAIP導入 を迅速化～大田区の政策プロセスを可視 化し政治課題として生成AIやDXによる EBPMを展望～	共同		日本保健医療福祉連携教育 学会第18回学術集会、東京		○伊佐治剛、 <u>嵐末憲子</u> 、小嶋章吾	2025.10

7	F-SOAIPのミクロ・メゾ・マクロレベルにおける有用性～東京都品川区におけるF-SOAIP展開をもとにした多職種連携への提言～	共同	日本保健医療福祉連携教育学会第18回学術集会、東京	○藤井江美、 <u>嘉末憲子</u> 、小嶋章吾	2025.10
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ケアサービス論（ケアと環境Ⅰ）	○	15	執筆したテキストを用い、ソーシャルケアにおける利用者中心の連携、生活アセスメント等、双方向の講義となるよう工夫した。また、実践面や研究成果をふまえ講義に還元した。	
2	福祉社会特講Ⅳ（国際社会福祉論）		1	前回までの講義と関連づけ、「外国人介護人材受入れおよび日本式介護の海外発信」を担当した。	
3	IPW論（大学院：前期課程）		4	初回や発表会、最終の振り返りの他、「地域共生社会時代にIPWの実践過程を可視化する生活支援記録法（F-SOAIP）～実践や研究でのデータ利活用による変革を期待して～」を担当した。	
4	実践評価－実践と地域のイノベーション（大学院：前期課程）	○	8	実践評価のリフレクションデータからメゾ・マクロまでを検討できるF-SOAIPの活用を教授した。	
5	地域開発－実践と地域のイノベーション（大学院：前期課程）	○	0(開講なし)	実践評価のリフレクションデータからメゾ・マクロまでを検討できるF-SOAIPの活用を教授する予定であったが、履修登録のみとなった。	
6	長寿保健福祉システム論①（大学院：後期課程）	○	15	リハビリテーション学専修の院生を対象に、地域開発の根拠データとして検討できるF-SOAIPの活用を教授した。なお、院生のテーマと照らして教育・研究に応用できるように対応した。	
7	保健医療福祉研究法特論（大学院：前期課程）		2	「混合研究法・アクションリサーチ・M-GTA」、「M-GTAの応用研究であるF-SOAIPによるデータ利活用」について、双方向で進められるようオンラインにて教授した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ケアサービス演習（ケアと環境Ⅱ）	○	15	実習Ⅰや進路支援にも有用となるよう工夫し、回想法によるプロセスレコード、重層的支援体制整備事業による地域展開等のグループワークを展開した。	
2	IPW演習(1開講)		8	科目責任者と協力して、IPW論での学びをふまえ、IPW実習に活かせるよう工夫した。次々年度までの科目責任者と情報共有しながら運営にあたり新たな教材開発を図り、1開講を実現した。	
3	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	科目責任者と協力し、対面とオンラインでの授業を交互に実施し、学生の学びが今後の演習・実習・実践に活かせるよう、リフレクションに留意した。	
4	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	3回ずつ4グループを担当した。現任者に求められながら養成課程ではテキスト類も十分でない経過記録としてF-SOAIPを教授し、授業資料の一部を公開した。	

5	社会福祉専門演習Ⅰ		15	関心テーマを中心に、ソーシャルワーク演習や社会調査の学びを活用しながら、学生（3名）と他1名を指導した。	
6	社会福祉専門演習Ⅱ		15	前半は4年生対象の演習Ⅳ（卒業研究の論文執筆・プレゼン）に参加してもらい、ソーシャルワーク演習や卒業後に役立てられるよう、学生（1名）を指導した。	
7	社会福祉専門演習Ⅲ		15	卒業研究を進める過程において、ソーシャルワーク演習や社会調査の学びを活用しながら、学生（6名）を指導した。	
8	社会福祉専門演習Ⅳ		15	卒業研究の論文執筆・プレゼンを通じ、ソーシャルワーク演習や卒業後に役立てられるよう、学生（6名）を2グループに分けて指導した。	
（3）実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○	15	サブの科目責任者や実習Ⅰの科目責任者および新カリ科目責任者会と協力して事前指導を進め、実習へのモチベーションを高められるよう実習課題やレポートの指導を行った。	
2	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2026.2～2026.3	科目責任者らと共に新カリにて変更したプログラムや評価を実現できるよう実習巡回や帰校日指導に尽力した。実習指導者と連携を密にし、実習Ⅱのプログラム等も検討した。	
3	IPW実習①		2025.8	4大学の学生を対象とし、実習指導者と連携しながら、利用者や家族や専門職とのインタビューを通じ、高い目標を達成できるよう務めた。	
（4）論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2025.4～2026.2	主指導 6名	副指導 0名
2	博士論文		2025.4～2025.10	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 1名
（5）その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	国際医療福祉大学大学院 共通科目「医療福祉面接記録法」ゲスト講師		2025.7 1 コマ	国際医療福祉大学大学院 「F-SOAIPの領域別展開」の内、介護領域と全体総括を担当した。	
2	「専門職連携を学ぶ講座」 IPWを促進するF-SOAIP研修		2025.6～2025.9 全3日間、12コマ	F-SOAIPの実践・教育・研究等の講師や執筆を目指したリーダー研修として位置づけた。学外講師として共同開発者に、実践報告を乃木坂スクール修了者に依頼した。	
3	国際医療福祉大学大学院 共通科目「質的研究法各論」ゲスト講師		2025.9-2025.12 4 コマ	質的研究法としてのF-SOAIPについて、修士論文や博士論文にF-SOAIPをデータ収集や分析に活用できるよう、オムニバスとして4回分の授業を担当した。うち2回分は、F-SOAIPを質的研究法として実施した。	
4. 社会貢献活動					
（1）講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	狛江市F-SOAIP（生活支援記録法）研修		東京都狛江市	第1グループ行政職員対象第1回 対人支援に好循環をもたらす	2025.5
2	狛江市F-SOAIP（生活支援記録法）研修		東京都狛江市	第1グループ行政職員対象第2回 対人支援に好循環をもたらす	2025.6
3	令和7年度 沖縄県うるま市障がい者相談支援システム操作研修		沖縄県うるま市	障がい者相談支援における F-SOAIP 研修	2025.7
4	重層的支援体制整備事業・大東市地域貢献委員会 合同研修		大阪府大東市社会福祉協議会	F-SOAIP研修第2回 伝える記録から伝わる記録へ～個別課題から地域課題～	2025.7

5	F-SOAIP研修	東京都介護支援専門員研究協議会（CMAT）	F-SOAIP研修～好循環を期待して～	2025.7
6	狛江市F-SOAIP（生活支援記録法）研修	東京都狛江市	第2グループ行政職員対象第1回 対人支援に好循環をもたらす	2025.11
7	狛江市F-SOAIP（生活支援記録法）研修	東京都狛江市	第2グループ行政職員対象第2回 対人支援に好循環をもたらす	2025.12
8	聖隷福祉事業団「F-SOAIP 基礎・実践研修」	社会福祉法人聖隷福祉事業団	F-SOAIP研修【基礎編】	2026.1
9	聖隷福祉事業団「F-SOAIP 基礎・実践研修」	社会福祉法人聖隷福祉事業団	F-SOAIP研修【実践編】	2026.2
10	令和7年度スクールソーシャルワーカー研修	東京都北区教育委員会	F-SOAIPについて（基礎編）	2026.2
11	F-SOAIP研修 ミクロ・メゾ・マクロレベルに好循環をもたらすF-SOAIP	神奈川県松田町	第1回 F-SOAIPの概要と特徴を学ぶ（複数のTKCのシステム導入自治体対象）	2026.2
12	F-SOAIP研修 ミクロ・メゾ・マクロレベルに好循環をもたらすF-SOAIP	神奈川県松田町	第2回 F-SOAIPのミクロ・メゾ・マクロ展開による実践変容とDXへの展望（複数のTKCのシステム導入自治体対象）	2026.3
（2）国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	一般社団法人 F-SOAIP実践・教育研究所		共同代表理事	2023.8～現在
2	一般社団法人 日本ソーシャルケア研究所		共同代表理事	2023.8～2025.5
（3）ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			年月
1	該当なし			
（4）その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	多可町や松田市の他、F-SOAIPの搭載システムを予定・活用する自治体担当者	㈱TKC TASKクラウド福祉相談支援システム導入後の活用や、当初からF-SOAIPの実装を前提としてシステム発注を検討する自治体に対し、成果公開や人材育成等のコンサルティングを行う。	2025.4～2026.3
2	その他：成果の発信等	品川区、大田区、茅野市、狛江市、都立墨東病院等、F-SOAIPの研修や活用を展望する団体や機関、行政や政治家、教育・研究者等	F-SOAIPを地域や行政にて導入・活用・定着を図るにあたり、ICT以外の情報提供、研修や実践報告等の発信を支援する。	2025.4～2026.3
3	産業支援	守秘義務のため公表不可医療・福祉のシステムベンダー等、各領域にて数社	F-SOAIPの実践報告者を中心に、F-SOAIPが病院や福祉・介護・教育等のシステムに実装され、データを利活用できるようサポートしている。	2025.4～2026.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	IPEセンター員として、専門職連携・協働講座を運営担当した。		2025.4～2026.3

2	全学的委員会及びセンター業務等	ヒューマンケア実習室の管理を担当した。	2025.4～2026.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	「IPW演習」の次年度の科目責任者を中心に計4名にて準備を進め、2025年度以降は一開講できるよう調整した。	2025.4～2026.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	IPEセンター員として、四大学連携事業や専門職連携講座の実施に尽力した。	2025.4～2026.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	後援会担当として、入学式や大学祭に出席し、保護者と交流した。	2025.4～2026.3
6	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会員として、オープンキャンパスや大学案内作成、学内の見学の調整を図った。	2025.4～2026.3
7	学科等における委員会等	社福新カリキュラム科目責任担当者に参画し、新カリキュラムにおいて実習科目がスムーズに展開できるよう従事した。	2025.4～2026.3
8	学生支援	社会社専門演習Ⅰ～Ⅳ担当学生および実習担当学生への面談などを実施し、1年次生学年担当として面談やサポートを行った。	2025.4～2026.3
9	大学広報活動	「IPWを促進するF-SOAIP研修」修了者が各専門誌にて実践報告をするにあたり、研修修了者であることや研修での学びや活用など、その成果を発信する機会としている。	2025.4～2026.3
10	大学広報活動	高校生や教員を対象に、学内の見学案内や学科専攻の説明を4回担当した。	2025.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	特別賞「多職種連携記録F-SOAIPの様々な領域への導入とその効果」	日本保健医療福祉連携教育学会第18回学術集会	2025.10
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		